

眠っている資源を活用して地域に元気を！

～空き家の再利用を考えてみませんか～

市内各地域で、人口の減少や流出により空き家が増えてきています。人が住まなくなった家は古い家であればあるほど傷みの進行も早く、1年も放っておくと大幅な修繕が必要となり、再生も困難になってしまいます。その一方、都市部に住んでいる人の中には、自然に囲まれて暮らせる地方への移住や定住などを考える人が増えてきています。

このような状況を踏まえ、市では空き家の利活用による地域の活性化に取り組んでいます。具体的には、本市への移住を希望される方に窓口等での情報提供を行い、気に入った物件があれば現地を案内し、所有（管理）者との橋渡しを行うというものです。

ここでいう「空き家」とは、貸家を目的としたものでなく、常住する者がいない住宅（住宅以外の建物であって、住宅に改造するものを含む。）をいいます。

また、茨城県や県北地域の市町、民間企業が出捐して組織する財団法人グリーンふるさと振興機構でも、6市町にそれぞれ一戸建ての空き家を1〜3カ月程度のお試し田舎暮らし住宅として整備し、多くの方を受け入れています。



価値観が多様化している現在だからこそ、一方では不要なものも、もう一方では必要なものになりえる場合も十分考えられます。
市内の空き家の数は、問い合わせの数に比べ、紹介できる空き家が絶対的に不足しています。これを機に空き家の利活用を検討してみたいかがですか？空き家の取り扱いに困っている方は是非一度ご相談ください。

空き家を利用するための各種補助制度

●●● 市の助成事業 ●●●

空き家改修費補助金（上限50万円）

空き家を賃借または取得し、機能及び環境の向上のために家屋を修繕した場合に、**買主または借主に対して交付**
※市内の事業者を使用した場合のみ

移住促進協力謝礼金（5万円）

市内の空き家を市外からの転入者に売買または賃貸した場合に、**売主または貸主に対して交付**

※対象地域は、大宮地域の一部（上大賀、岩崎、三美、西塩子、北塩子、照田）及び山方、美和、緒川、御前山地域の全部

●●●（財）グリーンふるさと振興機構の助成事業 ●●●

“いばらき さとやま生活” 田舎暮らし空き家提供補助金（10万円）

空き家提供者への貸し出しのために要する諸経費として交付

“いばらき さとやま生活” 田舎暮らし空き家賃貸に伴う環境整備（上限20万円）

空き家内に残る荷物の整理や屋内外の清掃のほか、障子やふすまの張り替え等の経費（家主に代わって機構側で実施）

※全ての助成事業は1回限りの交付となります。

また、空き家として寄せられた情報全てを取り扱う訳ではなく、建物の損傷の程度により、取り扱いを遠慮させていただく場合もありますので、ご了承ください。

■問い合わせ先■

市民部 市民協働課 地域づくり支援グループ

☎52-1111 (126・127) E-mail: kyodo@city.hitachiomiya.lg.jp

財団法人 グリーンふるさと振興機構

☎0294-72-2266 E-mail: admin@greenful.jp

実際に移住された方の声

平成20年度に常陸大宮市氷之沢の空き家に移住した、宮永憲治さんにインタビューしました。



Q1 お仕事は何をされていますか？

養鶏と有機農業をしています。平飼いの鶏の健康な有精卵で主に生計を立てていますが、詳しいことが「環の花」というホームページに載っているのでご覧になってください。

Q2 常陸大宮市への移住を考えたきっかけは？

実家から近い茨城県内で、農業のできる土地を探すため、一年くらいかけて探していましたが、なかなか理想どおりの物件がありませんでした。ある日、常陸大宮市役所に相談したところ、運よく紹介してくれる人がいて、今の家を見つけることができました。たくさんの物件を見てきた中でも、自分が思い描いていた物に一番近く、何より養鶏をするには最適の環境だったことが決め手となりました。

Q3 実際に住んでみてどうですか？

ここに住んで半年になりますが、とても満足しています。地元の人たちは皆さんあたたかく、とてもよくしていただいています。



Q4 困ったことはありますか？

やはり古民家ですので、屋根や水まわり、基礎などに手直しが必要だったことです。

Q5 これから移住を考えている方へのアドバイスをお願いします。

やりたい暮らし、イメージにあった家は、妥協しないで探せばきっと見つかります。自分の考えを声に出していけば、きっと実現できると思いますのであきらめないでください。

—ご協力ありがとうございました。

平成20年度には8組14人の方が移住されました

大宮地域	1組	1人	美和地域	2組	5人
緒川地域	3組	4人	御前山地域	2組	4人

※市または(財)グリーンふるさと振興機構を通して、空き家を利活用して移住された方の人数です。